

ホンダ SRS 付車用取説

224・225・224S・225S 用

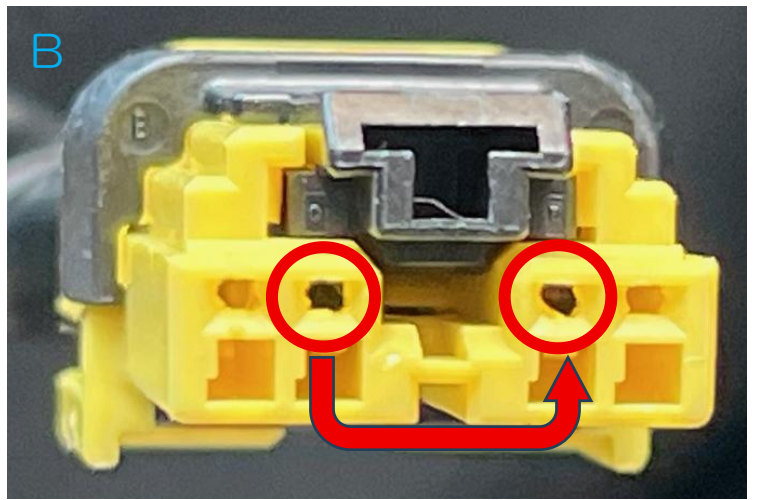
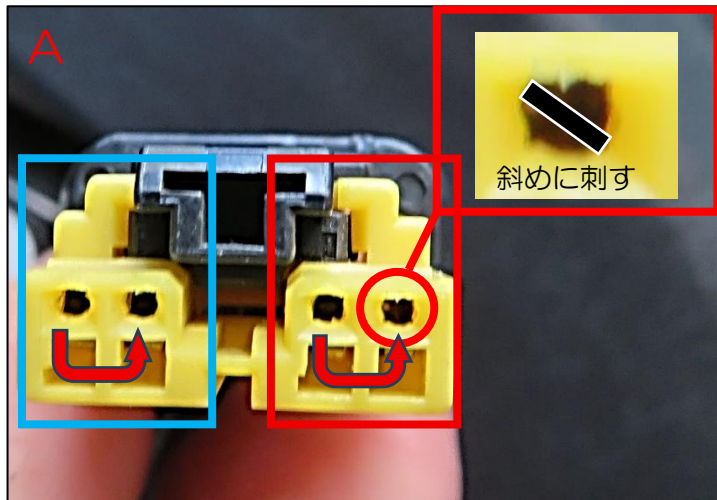
この度は弊社製品をお買い上げ頂きましてありがとうございます。

※必ず付属の説明用紙を全てお読みになってから作業を行ってください。

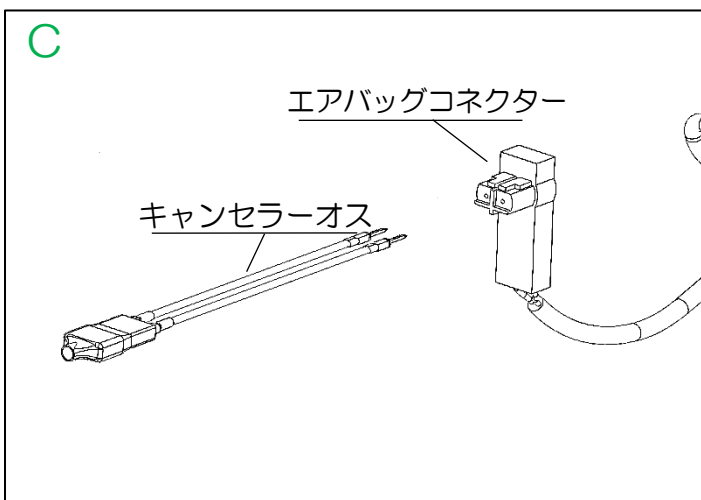
- 本製品はスポーツタイプのステアリングに交換するためのアダプターです。それ以外の用途に使用しないで下さい。
- 本製品はMOMO社製ステアリングホイールまたはナルディ社製ステアリングホイールの取り付けに対応しておりますが、それ以外のメーカーでも取り付け部の形状が同じであれば取り付けできる場合があります。詳しくは装着するステアリングメーカーにご確認ください。
- ステアリングは重要保安部品に該当しますので、しかるべき知識、技術をお持ちの専門店で作業をご依頼ください。
- 作業時は保護メガネ、グローブ等の安全具を身に付け、怪我に充分注意し作業を行ってください。
- 事故等、強い衝撃時に本製品により運転者に損傷を及ぼす危険があります。充分ご注意ください。
- 誤った取り付けや取り扱いによる車両等の破損、又は事故等を起こされた場合、弊社では一切の責任を負いかねますので予めご了承ください。
- 純正ステアリングの取り外しは本取説には記載しておりません。自動車メーカーの整備解説に基づいて行ってください。
- 作業は車両を平坦な場所に置き、ステアリングを直進状態にして、必ずバッテリー端子を外して 10 分以上経過してから作業を始めてください。
- バッテリーを外した際にオーディオやパワーウィンドなどの設定がリセットされますので事前に復元方法をお調べください。
- スパイラルケーブルは純正ステアリングを外した状態から絶対に回転させないでください。センター位置をずらしてボスを装着するとスパイラルケーブルを破損する事があります。
- 本取説により正確に配線を行っても、車両個体差や取り付け状態等により警告灯が消灯しない場合があります。又、警告灯が消灯した場合でもステアリングエアバッグ以外のエアバッグ作動は保証できません。純正のエアバッグモジュールに戻しても警告灯が消灯しない場合はディーラーの診断機をかけないと消灯出来ない場合があります。
- 純正ステアリング上にあるホーン以外の各種スイッチは使用できなくなります。
- 取り外したステアリングとエアバッグは大切に保管して下さい。何らかの理由で純正ステアリングに戻す際に必要になります。紛失した場合の部品代や工賃の保証は一切できません。
- 運転席エアバッグを取り外すことにより、任意保険の契約内容に変更が必要になる場合があります。ご加入の保険会社にお問い合わせください。

取り付け説明

- ① 純正ステアリングを取り外します。ステアリングの取り外しは整備解説書を基に行ってください。
- ② エアバッグの配線処理は下図AとBとCを参考に行ってください。



エアバッグコネクタの形状が写真と同じで配線が4本の車両は、図Aコネクタの右側、左側にそれぞれ付属のキャンセルを下段の大きい穴ではなく上段の小さい穴に差し込みますが、穴の幅より端子が大きいので四角い穴に対して斜めに傾けて端子を折らないよう注意して止まる所まで挿入します。抜け防止の為に絶縁テープなどで固定して下さい。配線が2本のみでBと同形状の場合は○の箇所にAと同様に斜めにキャンセルを刺し、絶縁テープなどでコネクタに固定して下さい。



品番 224、224S 該当の車両で左図形状のエアバッグコネクタを使用している車両と、225、225S 該当の車両は付属のキャンセルを車両側エアバッグコネクタに接続します。2段式エアバッグを搭載している車両はエアバッグコネクタが2つありますので2つとも同じ処理をして、抜け防止の為に絶縁テープ等で固定して下さい。

- ③ 付属のホーンコネクタを接続しますが、コネクタから出ている複数の配線の内1本のみを使用します。どちらに電源が来ているかは純正ステアリングのホーンコネクタを参照してください。余った配線は使用しませんので絶縁処理をして邪魔にならないよう収納してください。余った配線はアース(ー)ではありません。様々な車種に対応できるようにする為、複数本出ております。
- ④ ボスを装着する前に車両側シャフトテーパー部をパーツクリーナーなどで必ず脱脂を行ってください。脱脂を行わずにボスを締め付けされると、規定トルクで締めたとしてもボスが割れてしまう場合があります。

裏面に続く。

- ⑤ボスとボスカバーを分離し、品番 224 はボスのトップマーク（▲）を真上にしてホーン配線などをボス内部に引き込みつつ差し込みますが、品番 225 は（▲）ではなく**赤印を真上にして**差し込みます。

ショートボスの場合、丸いくぼみ（・）がトップマークになります。

このとき、スパイラルケーブルは絶対に回転させないで下さい。

回転させた状態で取り付けしますと車両側の部品を壊してしまいます。

- ⑥エアバック配線はボス内部に引き込むかボスの周りに巻き付けてテープ類で固定し、ボスカバーをかぶせます。カバー下部がスパイラルケーブルやコラムカバーに当たる場合はカッター等で干渉部分を切り取るなどして干渉を避けてください。
このときケガ等には充分注意してください。

- ⑦ボスのトップ位置の角度が良ければボスを純正ボルトで締め付けますが、ボスのトップ位置を左右に 1 山ずらしてもセンターが出ない場合は本締め付け後、足回りの調整等でステアリングセンターを出して下さい。

※締め付けトルクは $25\sim 30\text{N}\cdot\text{m}$ ($2.5\sim 3\text{kgf}\cdot\text{m}$)。

締め付けの際は必ずトルクレンチを使用してください。

- ⑧ラフィックスⅡもしくは GTC を取付けされる方はここからラフィックスⅡ及び GTC の説明書をお読み頂き、取り付けを始めてください。

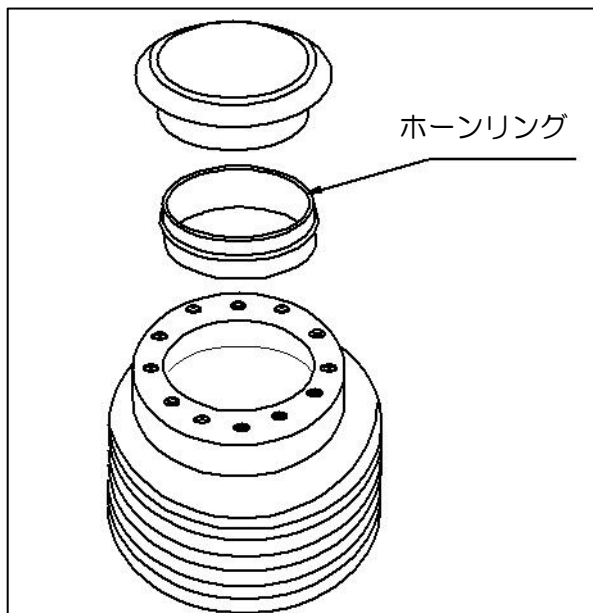
- ⑨必要に応じてホーンリングを装着し（下図参照）社外ステアリングを付属のネジで取り付けします。締め付けトルクは $676\text{N}\cdot\text{cm}$ です。

ホーンボタンにホーン配線を接続し、ボスに取り付けします。

※ショートボスにホーンリングは付属していません。ラフィックスシリーズに付属しているカットリングをご使用ください。

2 極タイプのホーンボタンはアース線が必要になりますので必要に応じて配線を追加、加工してください。

- ⑩バッテリーターミナルを接続して終了です。



株式会社ワークスベル

〒391-0011 長野県茅野市玉川 8507

TEL 0266-70-1477

Email : support@worksbell.co.jp

URL : <http://www.worksbell.co.jp>

20250904w